

山梨県立 Yamanashi Prefectural Archaeological Museum

考古博物館だより



HP ACCESS

No. 97

<https://www.pref.yamanashi.jp/kouko-hak/>

X @yamanashi_kouko f @yamanashi.kouko1103

重要文化財指定

25周年記念

一の沢遺跡出土品展

令和6年度
春季企画展

令和6年度
イベント予定一覧
掲載号

開催報告

- 第21回わたしたちの研究室
- 山の洲文化財交流展

Photo by T.Ogawa



重要文化財指定25周年記念

4^{sat}
20 → 6^{sun}
16

会場 ◇ 山梨県立考古博物館 企画展示室
休館日 ◇ 月曜日 [4月29日・5月6日は開館]、5月7日(火) 9:00-17:00 [入館は16:30まで]

令和6年度
春季企画展

一の沢遺跡出土品展

観覧
無料

一の沢遺跡は、笛吹市境川町の緩傾斜地に広がる縄文時代中期を中心とした大集落遺跡で、数多くの土器や石器が出土したことで知られています。なかでも、4号住居跡と56号土坑から発見された土器群は優品で、平成11(1999)年には一括で国の重要文化財に指定されました。出土品は土器類のほかに土偶などの土製品、磨製石斧・石鏃といった石製品類で構成されており、当館のマスコットキャラクターでもある土偶の「いっちゃん」の愛称は、まさにこの「一の沢遺跡」出土であることに由来しています。本展では、重要文化財指定25周年を記念して、一の沢遺跡出土品全176点を一堂に集め、山梨が誇る縄文芸術の粋を一挙にご紹介します。すべてが揃う機会はなかなかありませんので、ぜひこの機会をお見逃しなく！

Point.1 重要文化財に指定された理由は？

- ① 中部高地の中期中葉の井戸尻式(勝坂様式)土器の代表的資料であること。
- ② 土器の細部に亘る浮き彫りの技法を駆使した文様や、均整のとれた造形が特に優れていること。
- ③ 生活に密接した石製品が比較的多く出土し、当時の植物採集を中心とした生業活動をよく示していること。

などがあげられ、学術的価値が非常に高く、重要な資料となっています。



マスコット土偶
「いっちゃん」

Point.2 色々な土器があるの？

- ① 一の沢遺跡からは多種多様な土器が出土しています。なかでも上部に4つの大きな把手をつけ、胴部の半ばでキュッとくびれ、底部が算盤玉のように膨らむ形状(右画像)のものは特徴的で、絶妙なバランスで自立しています。
- ② ヒトや動物をモチーフとしたバラエティ豊かな文様表現が見られ、縄文の人々の精神世界を垣間見ることができます。たとえば、人々が踊っているかのような文様は「踊る人」の愛称で親しまれています(下画像)。



算盤玉のような底部

5^{sun}
5

春季企画展

ギャラリートーク

① 10:00～

② 13:30～

予約不要
参加無料



まじな 呪いの世界



7 sat 13 → 9 sun 1

会場 ◇ 山梨県立考古博物館 企画展示室
休館日 ◇ 月曜日 [7月15日・8月12日は開館]
7月16日(火)

謎の釣手土器!?

9:00-17:00 [入館は16:30まで]

令和6年度
夏季企画展

呪 い(まじない)は、神秘的なものの力を借りて災いを除く、あるいは引き起こすための術で、原始・古代から人々の生活の身近にあつてさまざまな信仰や習俗と結びついてきました。本展では、山梨県内各地で発掘されたマツリや呪術にかかわる出土品を通して、時代によって形や方法を変えていった呪いの世界をひもときます。



人形ってなあに?

観覧
無料

上画像: 釣手土器 伝・肥道遺跡 縄文時代
右画像: 人形(ひとがた) 塩部遺跡 平安時代

7 sat 20 → 9 sun 1

夏休みイベント開催予定!

夏休み期間中に原始・古代にちなんださまざまなものづくりイベントを開催予定です。詳しい内容は順次ホームページにてお知らせします。

第41回
特別展

縄 文時代、山梨・長野を中心とした中部高地では豊かな縄文文化が花開き、優れた造形美を誇る土器や土偶が数多く生み出されました。その芸術性の高さから近年世界でも注目度が上がっている一方で、個性豊かな出土品の中にはその用途が判明していないものも少なくありません。そこで本展では、とくに子どもの視点に立って「これって一体なんだろう?」という素朴な疑問について一緒に考えながら、いまだ謎が多い縄文時代の不思議な道具の世界にせまります。



なんのカタチ?

なんだろう?
その1
三角^{とら}壜形土製品
上の平遺跡



なにに使ったの?

なんだろう?
その2
小形土器
酒呑場遺跡

9 sat 28 → 11 sun 24

9/21-27, 11/26-12/1は特別展の準備・撤収のため臨時休館となります。

9:00-17:00 [入館は16:30まで]

会場 ◇ 山梨県立考古博物館
休館日 ◇ 月曜日 [10月14日・11月4日は開館]

観覧料 一般・大学生 600(480)円

小・中・高校生
県内在住の65歳以上の方 無料

※()内は20名以上の団体料金
※障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1名無料

縄文時代の不思議な道具

第21回 わたしたちの研究室

わたしたちの研究室は、山梨県立考古博物館が主催する小・中学生を対象とした歴史・考古学分野の自由研究コンクールです。今年度は令和6年2月10日(土)に優秀作品を対象とした表彰式および研究発表会を行い、同日2月10日(土)～3月3日(日)までの期間には応募作品すべてを一堂に展示する「研究成果展示会」を開催しました。いずれの研究成果も創意工夫を凝らし、驚かされるほどの行動力と意欲を感じさせる力作揃いで、大変見ごたえのある展示会となりました。本コンクールでは引き続き子どもたちの自由な発想力を活かし、その知的好奇心との向き合い方・伸ばし方について知るきっかけ作りができるよう、幅広く作品を募り紹介していきたいと考えています。

土偶イラスト by 鈴木 歩乃さん

個人・小学校の部応募点数：58点



個人研究部門 Personal Research Division

個人・中学校の部応募点数：398点



小学校の部 Elementary school Department

最優秀賞【山梨県知事賞】

山梨市立加納岩小学校4年 三澤 穰さん
「ぼくの家で近くで遺跡が発見されたよ！
～屋敷平遺跡が教えてくれたこと～」

優秀賞【山梨県考古学協会賞】

- 韮崎市立穂坂小学校4年 廣瀬 冬馬さん
「三之蔵の伝説」
- 甲州市立菱山小学校6年 内田 瑛梧さん
「黒曜石の秘密～石で肉が切れるのか～」

優良賞【山梨県立考古博物館賞】

- 甲斐市立双葉西小学校5年 佐藤 和花さん
「これは本当に土器なのか」
- 富士吉田市立富士小学校6年 阿部 縁之介さん
「武田信玄すごろく」
- 中央市立玉穂南小学校6年 小山 陽和さん
「縄文時代について」



小中学生を対象とした歴史・考古学分野の自由研究コンクール 受賞者



中学校の部 Junior high school Department



最優秀賞【山梨県知事賞】

駿台甲府中学校1年 三澤 茜さん
「水晶がつなぐ山梨の歴史～水晶探検隊に参加して～」

優秀賞【山梨県考古学協会賞】

- 南アルプス市立若草中学校2年 鈴木 歩乃さん
「今でも愛され続ける縄文土偶と土器」
- 南アルプス市立若草中学校2年 織茂 奈々さん
「今に伝わる定期市～「十日市祭典」の足跡と行き先～」

優良賞【山梨県立考古博物館賞】

- 山梨大学教育学部附属中学校2年 牧 佑美さん
「地方病撲滅とゲンジボタル」
- 山梨大学教育学部附属中学校2年 田野 優真さん
「南アルプス市の縄文時代を知ろう」
- 甲州市立塩山中学校2年 平山 澄伶さん
「菅田天神社～地域に根ざす神社の歴史と文化～」



団体研究部門 Group Research Division

団体研究部門応募点数：5点

最優秀賞【山梨県知事賞】

山梨市立岩手小学校6学年のみなさん
「大きい古墳で大ゴーン！
みんなで古墳を調べよう ### & 古墳を作っちゃった！」

優秀賞【山梨県考古学協会賞】

山梨学院小学校1～6学年のみなさん
「縄文王国」

優良賞【山梨県立考古博物館賞】

駿台甲府小学校5学年のみなさん
「縄文土器作りに挑戦」

参加者総数：620名
応募作品総数：461点